

### 第3回 村上市議会議会改革調査特別委員会記録

1 日 時 令和4年6月21日(火)午前10時33分

2 場 所 村上市役所 第1委員会室

3 協議事項

(1) 調査項目の集約について

(2) 全国市議会議長会研究フォーラム in 長野への参加者について

(3) その他

4 その他

5 出席委員(8名)

1番	川崎健二君	2番	高田晃君
3番	菅井晋一君	4番	鈴木いせ子君
5番	鈴木一之君	6番	本間善和君
7番	尾形修平君	8番	長谷川孝君

6 欠席委員 なし

7 傍聴議員(4名)

上村正朗君 富樫雅男君 渡辺昌君  
木村貞雄君

8 地方自治法第105条による出席者

議長 三田敏秋君

9 オブザーバーとして出席した者

副議長 大滝国吉君

10 議会事務局職員

局長 内山治夫  
次長 鈴木涉  
書記 中山航

---

(午前10時33分)

委員長(長谷川 孝君)開会を宣する。

---

#### 協議事項(1) 調査項目の集約について

長谷川委員長 最初に、協議事項の(1)、調査項目の集約についてを議題とする。事務局から説明願う。

事務局局長 お手元に配布の議会改革にかかる検討項目という表をご覧ください。これについては前回の特別委員会でご決定いただいたとおり、アンケートについて各会派及び会派に属しない議員の皆さんから意見を集約するというので集約させていただいた結果である。17日金曜日で締めさせていただいたところ、全部の会派あるいは全部の議員さんからご提出があったので、それを一覧表にまとめたものである。非常に多岐にわたっているものだから、こちらのほうで一番左側の列になるが検討分野ということで、大枠に分けさせていただいて取りまとめをさせていただいている。一番上からいくと、大項目としては政治倫理ということでいただいているし、それからDXということで、デジタルトランスフォーメーションに関しても多くのご意見をいただいている。議員定数、議会運営についてということで、議会関連の話題も多くいただいている。それ

から人材確保ということで、女性議員だとかそういった話題も出ている。それから資質向上ということで、一般質問の在り方といったような意見もある。それからその下のほうが、議員報酬、政策提言、広報公聴、福利厚生等というふうな項目でまとめさせていただいている。事務局のほうで、色分けをさせていただいて若干この上のほうが網掛けさせていただいているが、あくまでも事務局案としてご覧いただきたいと思うが、全てこの議会改革で取り扱うということも無理があると思うので、必要に応じて他の委員会等でご協議していただくものもあるかと思うので、こちらの特別委員会を取り扱う議題について、上のほうの網掛けを仮に付けさせていただいた。政治倫理、DX、議員定数、議会運営、人材確保、資質向上この項目について、本委員会で取り扱ってはいかがかなということで事務局の案として作らせていただいたので、ご協議お願いしたいと思っている。

長谷川委員長 今局長から事務局案というの踏まえて話があった。それらを踏まえて、皆様からご意見があったらお願いします。

本間 善和 事務局の案を聞きながら、この大きな検討分野で考えると10項目もあると、非常に多いということで、ここの委員会で論議するのもやぶさかではないが、やはり時間の制限等もあると思うし、いくつかに絞るという格好でそれを検討していくという方向がよろしいのではないかとそう思う。それは私の思いであるし、事務局で網掛けしたというのは非常に薄くてちょっとわからないので、もう一度そのところお話できるか。網掛けの部分だけ。

事務 局長 網掛け部分の選んだ理由ということか。資質向上から上の部分、そこまでを。政治倫理から資質向上までを本会で取り扱ってはいかがかということでの提案である。先ほど説明しなかったが、議員報酬について今回色付けしていないが、なぜ入れなかったかと言うと、議員報酬については当然、定員とこれまで非常に関連が深いというようなことで、前回の議会改革でも一緒に議論されてきた経緯がある。その中で当然議会側としては、表裏一体の関係にあるというふうなことで併せて協議してこられたと思っているが、中で定数の削減については進んだが、議員報酬については結局据え置きというような結論になってしまっているところである。その中で、第4期に入っても議員報酬については報酬審にかけていくんだという方向性が示されて、前回の会議の結果もそうだが、議会運営委員会のほうで今後は報酬審にかけていくんだというような方向性が示されて、その後タイミングを見計らっているというふうな状況かと認識しているので、まずは継続をして報酬審にかけるというふうなことで、最近までご協議進んでいるわけなので、まずはその路線で進んではどうかというふうなことで事務局としては外しているようなところである。必要に応じて、議会運営委員会等でお話いただく必要があるのではないかと考えている。その下の政策提言であるが、これについても第4期に入ってから、検討してきた事項であるし、前回の議会運営委員会でこれまで検討してきたその結果、やってきたものであるので現段階ではこれは、この会では取り扱わなくて必要であれば議会運営委員会でやったほうがいいのではないかと考えているし、その下の広報公聴については広報特別委員会もあるわけなので、必要に応じてそちらのほうで協議していただければいいかなと考えている。また福利厚生についても、議会運営委員会あるいは会派代表者会議等で必要に応じてご相談いただければいいかなというふうなことでの区分けで、上のほうの政治倫理から資質向上までというのを事務局案とさせていただいたところである。

長谷川委員長 他に。

尾形 修平 事務局で分けていただいたのは結構なんだけど、今回分けると6つあるよね。そのうちの議会運営に関わる部分というのは、本来この中身見ると議会運営委員会でやるべきではないかと思っているし、この件に関しては、今までも議会運営委員会で協議してきた継続なのでこれは外してもいいのかなと思うがいかがか。

長谷川委員長 今副委員長から議会運営は議会運営委員会でやったらどうかという話だったがいかがか。

高田 晃 おっしゃるとおりだと思うので、これが特別委員会でやるとじゃあ議会運営委員会で何やるんだというふうになっていったりするの、やっぱりここについてはしっかりと議会運営委員会で議論していったほうがいいと思う。

長谷川委員長 他にあるか。議会運営については議会運営委員会で今までと同じような形でやっていただくということにする。他の5項目については特別委員会でやっていくという形で決めさせてもらいたいと思うがいかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 これすぐにできるのと・・・

事務局 長 それでは今項目を選定いただいたので、今後の進め方ということでご提案であるが、項目たくさんあるので、とりあえず急ぐ順番というか、事務局では一応上から優先順位が高いかなというのを上から並べさせていただいているような形である。一番最初に政治倫理、DX、議員定数、人材確保、資質向上とそういった上から順番の項目順で優先順位ということで順次やっていってはどうかと考えているし、中でも政治倫理についてはタイミングもあるだろうし、これは早めに取りかかっていたらなければならないと思っているし、それからDXについても理事者側のほうでも議会側と一緒にペーパーレス化を進めていきたいというふうなことで検討を始めているので、議会だけでやるよりも両方一緒にやったほうがペーパーレス化が大いに進むので、この2つが一番優先度が高いかなというふうに事務局ではちょっと考えていて、さしあたり上の二つ政治倫理とDXを優先的に取り組んでいってはどうかと考えているところである。以上である。

長谷川委員長 今の事務局長からの案が出たけど、並行してやらなきゃだめだ。これ二つだけというわけにいかないの、並行しながらやっていくと。その中で優先順位から付けるとこの二つ、政治倫理とDXを優先的に理事者側と共同作業の部分もあるの、ということだがいかがか。

高田 晃 今のことは、ずれるかもしれないが、政治倫理と下のほうの資質向上というのが、上の政治倫理については条例制定関連もあるが、あんまり項目多いとあれなので、要するに議員としての政治倫理、資質向上と同じようなジャンルなのでひとつのカテゴリーにしてもいいのかなと個人的な意見である。

長谷川委員長 資質向上と政治倫理とね。資質向上というのは議会基本条例でもこの辺謳っている部分も相当ある。今高田委員言われたように政治倫理のところ資質向上と一緒にくっつけて4項目にしたらどうかという意見だが、どんなものか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 じゃあ4項目という形で、その中で二つずつ分けて優先順位も含めて4項目という形で調査していきたいと、検討して加えていきたいということでもよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

尾形 修平 一番上に書いてある政治倫理に関しては、前回の特別委員会でも随分議論した。その中で倫理条例を策定はどうかということでも議論した結果、現在ある議会基本条例

の運用の中でやろうということによって決まった経緯もあるし、その辺今まで議論された内容を委員の皆さんに分かるような格好で議会事務局のほうで資料作成等をしていただきたいなと思っているのでよろしくお願いします。

長谷川委員長 参考資料となれば、議員定数と議員報酬についても専門的な知見のある人たちが、相当な枚数の報告書を上げている。その報告書をご覧になっていない人もいっぱいいるんじゃないかと思うが、それを配付するとなるとまたDXとかに引っかかってきてあれだが、それも含めてですね、図書室なんかにはないか。

尾形 修平 前回の議会改革の経緯を皆さんに同じ土俵に立てるような。過去にやった話をまた同じ話してもしょうがないのだからという意味なのだ。俺が言いたいのは。

高田 晃 ネットにはなかったか。

事務局 局長 ネットに出ている。

長谷川委員長 それを皆さんご覧になって勉強してください。それでは、調査項目の集約については以上といたす。よろしくお願いします。

---

#### 協議事項(2) 全国市議会議長会研究フォーラム in 長野への参加者について

長谷川委員長 次に、(2)、全国市議会議長会研究フォーラム in 長野への参加者について事務局から説明をお願いします。

事務局 局長 お手元に配付させていただいている第17回全国市議会議長会研究フォーラムについてである。こちらについては議会運営委員会での度については、議会改革調査特別委員会のほうから2名選出したいというふうな方向で出ていたので、出席者について委員会でご協議お願いしたいと思っている。

長谷川委員長 参加したい方ございませんか。この参加者は、理事者側とDXについて2名担当を決めてほしいということなので、それを踏まえて2名をこのフォーラムに行っていたきたいというふうに思う。

事務局 局長 今ほど委員長のほうから話があったとおり、一点補足させていただくが、今理事者のほうでも議会と共同歩調でDX、議会のペーパーレス化のほうも一緒に進めていきたいというふうなことで取組を始めている。私どものほうも担当職員が会議に出席していて、今後理事者側と一緒に担当レベルで先進地の視察に行つてこようということなので今計画されるころだが、できればそちらに2名ほど同行をお願いしながら議会のほうからも情報をいただきながら進めていきたいというようなこともあったし、今後の担当者レベルの会議においても、必要に応じて議会側からの意見もいただきたいというふうなこともあったので、そちらのほうも併せてご協議をお願いしたいと思っている。

長谷川委員長 自ら名乗り出る方いませんか。

高田 晃 私できれば行きたい。

長谷川委員長 あと一人、副委員長と高田委員でいかがか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 それでは尾形副委員長と高田委員におかれてはよろしくお願いします。

---

#### 協議事項(3) その他

長谷川委員長 次に、(3)、その他の事項で、事務局から何かあるか。

事務局 局長 ありません。

---

その他

長谷川委員長 最後に、次回委員会の開催日時をご相談いたす。

事務 局長 今後の開催予定ということであるが、開催頻度も皆さんにお諮りしなければならないが、事務局としては月2回くらい、議会のない月には進めていったらいかがかなと考えていて、もし何も案がないようであればたき台として第二・第四火曜日あたりを設定いただいて、基本的にはその辺で進めさせていただいてはどうかと事務局では考えていたがいかがか。

長谷川委員長 よろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

事務 局長 次回は、7月12日の10時からでよろしいか。

長谷川委員長 7月12日の10時からいかがか。

(「研修」と呼ぶ者あり)

事務 局長 そしたらその前後で。

長谷川委員長 10日前後。7月11日の10時からでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

長谷川委員長 なお、この委員会の結果については委員の皆様から各会派の皆様へご報告くださるようお願いする。

---

委員長（長谷川 孝君）閉会を宣する。

(午前10時55分)